

日本学童保育学会機関誌投稿原稿査読についての内規

この内規は、日本学童保育学会機関誌『学童保育』編集委員会規程に基づく投稿原稿の査読について必要な事項を定める。

1. 投稿原稿（研究論文、実践研究論文、研究ノート）の採否については、編集委員会が選定した査読者3名が査読を行い、編集委員会が最終的に決定する。
2. 編集委員会は、専門性に基づき、各論文について査読者を選定する。執筆者または共同執筆者が編集委員会委員である場合、当該論文の査読者の選定には加わらない。
3. 特別の事情があると編集委員会が認めた場合を除き、査読者は匿名とし、著者と査読者が審査にかかわる事項で直接に連絡を取り合うことを禁ずる。
4. 査読者は、対象論文に対して、以下の項目をめやすに評価を行う。
 - ◆内容
 - 1) 学童保育学への寄与度
 - 2) 独創性・新規性（研究としての水準）
 - 3) 有用性（学童保育研究及び実践に対する価値）
 - 4) 信頼性・妥当性（研究方法及びデータの収集・処理の正確さ）
 - 5) 論理性（理論構成や論理展開の妥当性）
 - ◆形式・表現
 - 1) 投稿内規の遵守
 - 2) 表題の適切性
 - 3) 文章の表現力
 - 4) 図表の必要性・適切性
 - 5) 参照・引用文献の適切性
 - 6) 要旨と本文内容との整合性
5. 査読者は、上記の各項目について審査し、次の段階で判定を行い、査読結果を編集委員会に報告する。
 - A：掲載可
 - B：字句修正により、掲載可
 - C：内容修正の上、再査読
 - D：掲載不可
6. 編集委員会は、3名の査読結果を次のとおり扱う。
 - ① AAA、AAB、AAC、AAD = A：掲載可とする。
 - ② ABB、ABC、ABD、BBB、BBC、BBB
= B：指摘事項の修正状況を編集委員会で確認のうえ掲載可とする。
 - ③ ACC、ACD、BCC、BCD、CCC、CCD
= C：指摘事項の修正状況を再査読する。
 - ④ ADD、BDD、CDD、DDD = D：掲載不可とする。
7. 修正を要するとされた原稿については、査読者からのコメントを編集委員会より筆頭執筆者に通知する。C判定を受け、修正後に再投稿された原稿については、改めて査読者に再査読を依頼し、その判定結果に基づき、編集委員会が掲載の可否を決定する。
8. 編集委員会の依頼による論文原稿については、編集委員会による査読を行う。
9. この内規の定めによらない事項については、編集委員会の判断によるものとする。
10. この内規の改定については、編集委員会の過半数をもって議決する。

附 則

この内規は2015年1月24日より施行する。